

# 土佐町少年剣道

子どもの交流体験支援

## 活動ステップ（成熟度）



\*上記指標は、活動主体者へのヒアリング調査に基づき作成

## 活動内容

### 家族で剣道クラブ



土佐町少年剣道は、町内唯一の剣道クラブとして活動している。また、地域の行事への参加、イベントの開催、町内清掃活動など、スポーツクラブの枠組みを超えた活動に積極的に取り組んでいる。

土佐町少年剣道には、子どもの影響で通い始めたお母さん向けの剣道教室もあり、年に一度、子と親が対戦する試合が設けられ、その模様はメディアにも取り上げられている。子から親へ、スポーツクラブから地域活動へと交流が広がり、家族の絆・地域の絆が深まっている。

また、地域の行事である奉納相撲大会に剣道部員全員で参加することにより、家族や友達も応援に訪れ「剣道部のおかげで相撲大会がにぎやかになった」と地域の人々から喜ばれている。また、部員たちからも「剣道の練習よりも楽しい!」との声があがり地域全体で楽しむひと時となっている。



## 活動のきっかけと趣旨

### 子どもの健全育成を 目指す！

地域の子どもの減少により、少年剣道教室が無くなってしまったことが活動のきっかけになり、高知県で全国に通用するものは何かと考えた結果、子どもの心身の健全育成を目的とし平成3年、部員2名からスタートした。

「土佐町少年剣道道場十訓」は、稽古の最後に全員で唱和するものであり、剣道を通して子どもたちが学ぶべき約束事が定められている。

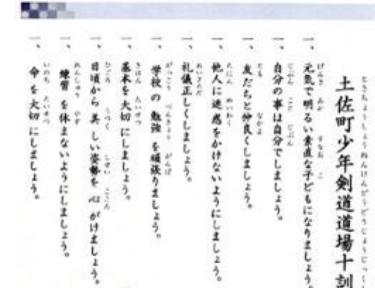


## 活動地域

高知県土佐郡土佐町

# 土佐町少年剣道

子どもの交流体験支援



## 効果

### 子どもの成長

剣道を通し、「親が子どもをよく見るようになり、家族間の会話が増えた」「地域の行事が活性化した」「子ども達が普段から礼儀正しくなり、小学生・中学生・高校生が一緒に活動するようになった」という効果が目に見える形で見受けられる。また、子どもたちは、剣道で全国大会にも出場して素晴らしい成績を収めており、文武両道を目標に日々練習に励んでいる。

## 活動継続のポイント

### 地域ぐるみで活動



## 課題と今後の展望

### 創立20周年へ..

- 家族ぐるみ、地域ぐるみで少年剣道の活動を支えている。
- 皆が仲良く誰でも気軽に道場に来やすい環境にある。
- 部員が友達を勧誘、親が他の親を勧誘している。
- 少年剣道、中学校剣道部、高校剣道部の部員・指導者・保護者が連携、協力して活動している。
- 町のボランティアセンターに登録しており、他の団体と一緒に、活動要請があれば参加協力し、ボランティアにも力を注いでいる。
- お母さん向けの剣道教室も始まり、お母さん剣士が誕生しており、親子の会話が増え、子どものやる気に繋がっている。

行政・他団体に働きかけ、町を挙げての創立20周年事業を計画しようと考えている。また、新たに企業との連携も検討する時期にきていく。

## 活動主体者



代表者： 高石 清賢

連絡先：

<http://www5f.biglobe.ne.jp/~kochi-tosa-tai-makoto/index.html>

設立年： 平成3年

\*写真や図表は活動主体者のホームページ及び資料から転載しています